

平成28年度

## 事務事業評価表 A ( 平成27年度 の実績評価)

記入年月日

### (Do) 1. 事務事業の現状把握（その1）

## （1）事務事業の概要

	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
手段	<p>桜川及びこれに流入する河川の治水事業及び災害復旧事業の促進を図り、地域住民の安全と福祉の増進に寄与することを目的とする。（桜川市・つくば市・土浦市・筑西市）</p> <p>関係当局に対する要望活動。</p> <p>茨城県河川協会中小河川部会に加入して各種大会研修等に参加する。</p>	<p>関係当局に対する要望活動。</p> <p>幹事会、総会、研修会等の連絡・調整事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹事会（1回）</li> <li>通常総会（1回）</li> <li>視察研修会（1回）</li> </ul>

## (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
関係当局に対する要望活動。 各種大会研修等の連絡・調整及び参加。	総会回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	負担金額	千円	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
関係自治体	構成団体数	団体	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
河川の治水事業及び災害復旧事業の促進を図る。	寄せられた河川に対する陳情・要望	件	3.00	3.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

### (2) 投入量(事業費)の推移

(3) 投入量(事業費)の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	期間限定期間総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	150	150	150	150	0
	事業費計(Ⓐ)	千円	150	150	150	150	0
人件費	正規職員従事人人数	人	2,00人	3,00人	3,00人	3,00人	3,00人
	述べ業務時間	時間	13.00	28.00	30.00	30.00	30.00
	人件費計(Ⓑ)	千円	38	81	87	87	87

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	桜川改修期成同盟会参画事業	事務事業No.	40109000361	所属課	建設課
【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 桜川及びこれに流入する河川の治水事業及び災害復旧事業の促進を図ることを目的として事業開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 土砂の堆積により下流集落で宅地に流れ込むなどの被害が出ないよう、改修、土砂払いの要望がある。					
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的な内容					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評価項目

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 （この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	結びついている 財源の確保などを目的とした県、国等への働きかけにより道路・河川の整備促進を図ることとなり、結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 （なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	妥当である 整備促進に係る費用負担であるため妥当である。
効率性	③成果の向上余地 （成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	向上余地がない 今後も、整備状況の実態を切実に訴えていく要望活動が必要であるが、財政的に余裕がない。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 （事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	影響有 整備率の悪化につながる。
（他に手段がある場合）	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 （類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））
	具体的な手段、事務事業名 余地がない 議・同盟会組織の目的事業が類似しているが、それぞれ組織メンバーが異なる。
（他に手段がある場合）	⑥事業費・人件費の削除余地 （成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	削減余地がない 定額負担金により運営されている組織であり削減は難しい。 費用負担であるため、人件費の削減の余地は無いと考える。
（他に手段がある場合）	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 （事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	公正・公平である 協議・同盟会の参画であり受益者負担になじまない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																			
(3) 今後の事業の方向性																				
□ 終了 <input type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 □ 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持				低下	×	×	×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持																				
低下	×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果																				
成果優先度評価結果																				
コスト削減優先度評価結果																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	
A: 繼続（現状維持） B: 繼続（改革改善を行う） <input type="checkbox"/>	C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出 <input type="checkbox"/>
確認欄	